

第35回木津川市都市計画審議会

第34回都市計画審議会(7/25)における3点の質問に対する回答について

令和7年11月5日

木津川市建設部都市計画課

質問内容(要旨)

- Q1. 奈良市の取り組み、高の原駅周辺でのキッズスペース整備に関して
- Q2. 木津川河川堤防の8割の実施状況について
- Q3. 下水道管・水道管のインフラの老朽化への対応に関して
第2次都市マス後期計画への記載について

Q1.

奈良市の取り組みとして、高の原駅周辺に、デジタル田園都市国家構想交付金を活用してキッズスペースを整備する予定であったが、奈良市議会の反対により、事業が実施されなかった経過がある。次の2点について尋ねたい。

- ①当該整備案について、木津川市は知っているか？
- ②木津川市として、奈良市と協働でキッズスペースを整備する計画はあるか？（R8～R12）

A1. 所管課等：市こども未来課

- ①奈良市議会で否決になった経緯等は、周知の事実として、本市の担当課も把握しています。
- ②当該事業は奈良市の事業であることや、本市と協働で実施する打診も現段階ではなく、注視している状況です。
故に、後期計画への記載は考えておりません。

Q2.

木津川河川堤防の8割実施状況について。

A2. 所管課等：国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所
市内の堤防強化の対策延長は、右岸・左岸合せて12.83km。対策済みは10.09kmであり約8割対策済みです。

なお、山城地区の未整備区間は、平尾西河原から萩の谷樋門までの0.5kmです。

Q3.

過日の埼玉県等において、老朽化した下水道管等のインフラが原因による事故が発生した。本市においても同様の事案が発生しないよう、市としての対策を後期計画に盛り込んではいかがでしょうか。

A3. 所管課等：工務課

後期計画に次の文言を追記します。

挿入箇所：該当頁：P.85__⑤生活環境の方針

「上下水道施設の老朽化による機能低下や漏水事故等が増加していることから、老朽化施設の更新が喫緊の課題となっています。このため、上下水道基幹施設（浄水場、配水池、ポンプ場、終末処理場等）及び管路の計画的な更新・耐震化を進めます。」